

沢地小だより



第4号 令和3年7月1日

～ 無事に運動会を実施することが出来ました ～

5月に新型コロナウイルス感染症に対する警戒レベルが「5（特別警戒）」に引き上げられ、通常通りの全校一斉で行う運動会の開催は難しい状況にありました。

沢地小では、「令和3年度の運動会を必ず実施すること」及び「開かれた学校を実現すること」の両立を考える中で、「3学年ずつ入れ替わり」で「応援は各家庭2名まで」とし、「今年度は来賓・地域の方の参観は御遠慮いただく」ことで会場の密を避けることができると考え、変則的な形ではありましたが6月5日(土)に運動会を開催することが出来ました。

運動会準備期間には、どの学年・学級も一生懸命に練習に取り組む姿がありました。前日の大雨でコンディションが心配されましたが、当日のグラウンドは適度に湿り気のあるベストな状態でした。どの学年も練習してきたことの全てを出し切れるよう一生懸命競技に取り組むことが出来ました。子供たちは、運動会という大きな行事を通して、クラスの絆が強くなると共に、個々の心が成長したことと思います。運動会の翌日に行われた閉会式で、6年生の代表が全校児童に向けて話をした内容を紹介します。

～（略）～ 仲間と何度も練習していく内に、タイムロスが少ないバトンパスが出来るようになりました。また、他のチームと練習をして良いところをマネして最後の運動会が思い出に残る最高のものにしよう頑張ってきました。だから運動会当日に、僕たちのチームは練習のタイムを大幅に上回る新記録が出ました。この記録と一緒に協力してきた同じチームのみんなや、競い合ってきた他のチームの誰1人がかけても、この結果は出なかったと思います。だから今まではクラスのみんなと仲良くしてきたけど、これからは学年のみんなと仲良くしていきたいです。

6年1組 野村 風 さん

私達、6年2組ははじめの頃、心が1つにまとまらないバラバラなチームでした。だんだんにちが経ち、練習を積み重ねて行く中で、時には言い合いになることもあったし、嫌なことを言われることもありました。けれど、みんなで協力したので、とても楽しい運動会になりました。

私は、この仲間達に出会えてとてもうれしいです。そして、最後の運動会が思い出に残るような運動会で良かったです。この仲間で最後の運動会を終えられて、とても幸せです。

6年2組 井出 姫咲 さん

保護者の皆様には、様々な制約の中での運動会実施となり大変な御不便・御心配をおかけしたにも関わらず、御理解・御協力をいただいたことに感謝申し上げます。地域の皆さまには、今年度は応援を見合わせていただきましたこととお詫び申し上げます。また、当日朝にテントの設営等をしてくださった「粋なおやじの会」の皆様ありがとうございました。

これからも皆様の御支援を賜りますようお願い申し上げます。



6年生 バトンパス！